

物価高騰で大変な時にさらに国保税の値上げ

国が一兆円補助するならば値上げしないですむ

国民健康保険税条例改正で、産前産後期間の保険税の免除措置が行われることは前進面ですが、埼玉県から示されている標準課税率に段階的に引き上げていくとして、今年度に続いて物価高騰で市民が苦しんでいる時に、さらに来年度も国保税を引き上げることには反対しました。

	今年度			来年度	
	所得割	均等割り		所得割	均等割り
医療分	6.90%	27,000	→	6.80%	27,500
後期高齢者医療支援分	2.30%	13,000		2.75%	16,000
40歳以上介護分	2.20%	16,000		2.40%	16,000
合計	11.40%	56,000		11.95%	59,500

日本共産党は、全国知事会が求めているように、国が一兆円補助するならば、値上げしないですむが、現在は6000億円の補助でしかないことを指摘しました。

また、自民党は派閥からのキックバックのやり方で自らの懐だけを増やしている国会議員ばかりです。国保税引き下げの為には、政治を変えることが求められると申し添え反対討論をしました。

小谷小学校廃校議案は

- 文教福祉常任委員会の審査で
賛成2名 反対2名 委員長により可決
- 最終日の本会議において
賛成19名 反対3名 棄権1名 賛成多数で可決

多くの市民が傍聴席で議決を見守る中、115年の歴史ある小谷小学校は2025年3月末日で廃校が決まりました。

小谷小学校地域の方が、地域の900世帯に独自アンケートを行い、276世帯から寄せられた回答を要望書にまとめ、24名の全議員に届けていました。設問で「小谷小学校を残すべき」と答えた方が193名もありました。アンケート用紙裏面や別紙には、地域と学校が子どもたちの成長を

促がし、地域の文化や歴史を継承してきたと「思い」が綴られていました。

日本共産党議員団は、子どもたち一人ひとりに目が行き届く少人数学級で小規模校の良さを活かした教育が、今こそ求められていることから、小谷小学校廃校に反対をしました。

意見書 市民の願い届かず

日本共産党が提出した「消費税の減税を求める意見書」と「介護保険制度の見直しと介護職員の処遇改善を求める意見書」は、賛成(竹田えつ子・すわみつえ・西尾あや子各議員) 少数で否決されました。

このす民報

議会報告版

2024年1・2月号 第440号 ★政務活動費で議会報告を作成しています。

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介します。

日本共産党鴻巣市議団

鴻巣市天神5-5-15

竹田えつ子 すわみつえ

☎542-7072
FAX542-7101

☎507-4151
FAX596-9440



左から秋山もえ衆院埼玉6区予定候補
すわみつえ市議、竹田えつ子市議

市議会議員 竹田えつ子

2024年、穏やかにくらせる年にと願った方は多いのではないのでしょうか。突然の能登半島地震災害で多くの皆さんが大変な思いをされていることに心が痛みます。被災され皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表します

政府がしっかりと向き合い被災者支援を行うことが第一だと思います。日本共産党も、救援募金に取り組んでいます。

いつ起きるかわからない自然災害です。安全保障というならば、軍事費増やすより、国民の暮らし・福祉の予算を抜本的に増やすことが求められていると思います。粘り強い外交努力で戦争にさせない政治の実現こそ大事だと思います。

2024年、解散総選挙の可能性のある年です。平和で安心してくらせる社会実現の為に頑張っていきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

市議会議員 すわみつえ

元日に突然の地震速報アラーム、夜が明け、能登半島に大地震と知ることになりました。建物崩壊・道路寸断・大規模火災・津波被害と目を覆う惨状です。元日に地震だなんて、誰が予測したのでしょうか。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

避難されている方々の心身の健康が保てるよう、食料や毛布など必要なものを届け、インフラの復旧、仮設住宅など住まいの確保など、現地からの要請に的確に応えることが求められます。

大変な年明けとなり、一層、日常の大切さを感じています。平和で平穏な暮らしが守れるよう力をつくす決意です。今年もよろしくお願い致します。

能登半島地震で被災され皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に
犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表します

法律・生活相談

生活相談はいつでもどうぞ。法律相談は毎月第4金曜日13:30~15:00日本共産党鴻巣市委員会事務所
法律相談の場合あらかじめ予約をお願いします。問い合わせは竹田えつ子、すわみつえ



竹田えつ子議員

異常気象による農業作物被害への補償を 約2億円もの借金(未償還額)を残したまま閉校で良いのか

一般質問

異常気象による農業作物の 影響と今後の対策について

農家の方から「県が推奨している『彩のかがやき』は暑さに弱く、規格外のお米を農協に出すけれど、いつお金が入ってくるかわからない」とのお話を伺いました。今年のような異常気象は今後も続くと言われてしています。鴻巣の農家の方々が希望をもって安心して農業が続けられるよう今後の対策について質しました。

市は、6月から9月の高温によるの農業災害について、県は特別災害と指定した。鴻巣市もその指定地域に該当するので、県や農協など関係機関と連携しながら、高温による農作物に被害を受けた農家への支援をおこなっていくと答えました。

被害を受けた農家へ 3049万8000円が予算化

12月18日の議会最終日に補正予算が出され、3049万8000円が計上されました。高温により規格外となった稲作農家に対し、次期の種苗や肥料購入費の補助として、10a当たり1万2000円を限度として補助金を出すこと、2024年1月から規格外米の証明や、肥料購入の領収書をもって市に申請すると、年度内には支払いです予定であるとしています。

3年前改修した常光小学校の 給食室の活用など閉校後の活用は

常光小学校は、今年度をもって閉校になります。3年前に給食室の改修を行っています。きれいになった常光小学校の給食室を今後どう活用するのか、地域の拠点となっていた常光小学校は閉校後のどのように活用しようとしているか質しました。

市の答弁は、給食室は、雨漏りや施設整備の老朽化が激しかったので2020年に改修を行った。跡地利活用については、鴻巣中央小学校と常光小学校の関係者による鴻巣市立小・中学校統合準備委員会で検討していくとしました。

約2億円もの借金(未償還額)を残したまま 笠原・常光・小谷小学校を閉校に

笠原小谷小学校、常光小学校、小谷小学校は閉校しても借金(未償還金)は残ることになります。それぞれの学校の借金額を質しました。

市は、笠原小学校は耐震化工事などで約2641万円、常光小学校は給食室改修工事等で約7754万円、小谷小学校は体育館整備、給食室整備等で約8990万円あると答えました。

他に定検診に聴力検査・眼科検診を組入れること、職員・会計年度任用職員の処遇改善について質問しました。



すわみつえ議員

特定の民間企業による無償の環境整備は問題ないか 市独自の支援事業の充実で介護職員不足の解消を

9月議会答弁の不登校児童生徒の政策 「楽しい学校づくり」の進捗は

【質】「楽しい学校づくり」をするにはまず教員の多忙化を解消し、余裕をもって取り組むことですが、具体的な方策は。

【答】市教育委員会は教員が余裕をもって取り組める環境づくりに努めるとともに「楽しい学校づくり」のため、さらなる工夫改善に努めます。

内田洋行・インテルが整備した 「のすっこ未来教室」はいくらか

【質】「のすっこ未来教室」の整備費用は？

【答】鴻巣中央小学校の「のすっこ未来教室」は、最新のICT機器や大型スクリーン、可動性を重視した机やイスが設置されています。子どもたちのICT教育を行うための環境整備として、「内田洋行」と「インテル」という企業と鴻巣市が覚書を交わし、整備したものです。

【質】日本経済新聞は設備にかかった費用は1000万円と報道しています。学校という公共施設を民間企業が多額の費用をかけて、設備投資することに疑問を感じます。

【答】三者(鴻巣市・内田洋行・インテル)で取り交わす「覚書」の中で、三者の役割を明確にしており「実証研究の実施学校への機材や環境の提供」は、

株式会社内田洋行及びインテル株式会社の役割となっているため2校とも把握しておりません。

「燃やすしかないごみ袋」 への転換でごみ減量

【質】本市のごみ分別は市民の皆さんの協力が進んでいますが、さらに進めるために「燃やせるごみ袋」を「燃やすしかないごみ袋」にネーミング変更をすることは？

【答】新たなごみ処理施設建設を検討する「埼玉中部環境保全組合」で、昨年12月より「燃やすしかないごみ袋」への名称変更が協議され、引き続き重ねていきます。

介護事業者の人員不足

【質】介護現場では、若い職員の離職や志望する者の減少が続ぎ、深刻な人手不足が起こっています。本市の実態は？

【答】総合事業の訪問介護を提供する1事業者がヘルパー高齢化により休止、ケアマネの事業所2カ所でケアマネが退職により休止となります。

引き続き、本市独自の「介護職員就職支援事業」の充実を求め介護事業者の人員不足解消に取り組めます。



本
当
が
わ
か
る
明
日
が
見
え
る

し
ん
ぶ
ん
赤
旗

●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円

見
本
紙
お
届
け
ま
す

マイナカード、政治、社会保障、経済、...「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。